

資料3

【要約】市民ワークショップ・6つのグループから共通して出されたアイデア、複数の参加者が共感したアイデア

★は参加者アンケートで「イチオシ」のアイデア

運営方針に基づく取組	要点	意見
(1) こどもたちが 本に親しむ機会	①本に関わる体験型企画の実施 (親子・家族で楽しめる図書館)	<ul style="list-style-type: none"> ・本から得た知見を共有し、実際にやってみる機会 ・専門分野のイベントで本の内容に関心をもたせる ・演劇で絵本の世界を表現する ・イベントに合わせた本を用意し、借りて帰ってもらう(子育て関連の本など)思いがけない出会い ・体験型絵本講座(図書館と子育て学習センター、図書館と公民館の連携) ・「どうぞのいす」の設置(★) ・絵本に出てくる料理を実際につくって食べる企画(ぐりとぐらのパンケーキなど・★) ・自然・星空観察会 ・
	②図書館に愛称をつける(★)	<ul style="list-style-type: none"> ・固さや敷居の高さのイメージに囚われてしまうことのない図書館ではない愛称。図書館と対極にあるような印象を与える名称 ・
	③子どもの興味が本に向く機会・PR	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本のキャラクター着ぐるみや図書館のキャラクター(例・ぎふメディアコスモスのにゃんこカート) ・もっとマンガを置く ・子どもが本に関する情報(電子図書館など)を知れる機会を増やす。学校にPRする
	④子どもがのびのびできる	<ul style="list-style-type: none"> ・大人のスペースと分けた子どもだけのスペース (声を出せる、親子で読み聞かせしながら絵本をえらべる)

運営方針に基づく取組	要点	意見
(2) 本を通じた家族の絆 を深める 家庭教育支援	①市民が主体となって（家族で参加できる）図書館や本に関わる機会をつくり、広げる	<ul style="list-style-type: none"> ・古本市、一箱本棚（一箱館長） ・ボランティアが勉強を教えてくれる ・絵本をつくってみる、ワークショップ ・親子で飛び出す絵本づくり ・親子ミニ図書館披露会：親と子がそれぞれ好きな本を一つの箱に入れ、家族でつくった図書館に名前を付け、体育館など大きなスペースで披露しあう（★） ・使い終わった参考書を持ち込み紹介するコーナー ・参考書以外にも、市民が持ち込んだ本を（図書館主催の）リサイクルフェアに出す ・ちーたん文庫のような（図書館以外に）子供向け本が見られる場所を増やす ・夜の図書館イベント：ハロウィンなどの夜の図書館で開催するイベント ・図書館旅部：他の図書館（ぎふメディアコスモスなど）に遊びに行くツアー ・
	②乳幼児・子どもも一緒に行ける図書館の環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・おむつかえ、授乳室 ・安全にごろごろして過ごせる環境 ・リラックスできる音楽や椅子の設置 ・大人（親）も楽しめる：託児 ・子ども雑誌を充実させる ・飲食できるスペース ・親子で読み聞かせができる場所づくり（ソファ、こたつなど、くつろげる場所） ・
	③図書館が親子や子どもたちのもとへ出ていく（アウトリーチ）	<ul style="list-style-type: none"> ・移動図書館（お菓子付き）（★） ・キッチンカーやカフェ機能もセットのような移動図書館 ・移動図書館で昼休み・放課後に貸出する ・

運営方針に基づく取組	要点	意見
(3) こどもたちの教育環境の充実のための 学校図書館支援	①図書館と学校をつなぐ	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館の本を学校の図書館で借りることができる図書館システムの導入 ・進路相談コーナー ・学校の先生向けの研修実施 ・図書館と学校図書館の連携、システムを連携させる（★）
	②学校図書館をひらく	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館を地域の人間に開放し、交流できる場所に ・夜間開放デーの実施 ・寺子屋のように勉強を教えてくれる人がいる（★）
	③こどもに本を読む手段（情報）を伝える	<ul style="list-style-type: none"> ・小4(1/2成人式時期)に電子図書館の広報をする。 ・本のプレゼントの代わりに、本を読む手段（情報）をプレゼントする
(4) その他	①本好きや市民同士がつながる	<ul style="list-style-type: none"> ・本好きがおしゃべりできる場所 ・ゆるやかにつながる、気軽にしゃべれる ・誰とでもおしゃべりOK